

栗原遺跡の竪穴住居跡
(氷川台1-7)

往時の面影を残す旧川越街道下練馬宿から氷川台地域まで、講師の説明を聞きながら、

わがまち再発見

秋の史跡散歩

10/10

―下練馬宿から田柄用水を歩く―

ねりまの文化財

練馬区教育委員会
社会教育課
(文化財係)

☎3993-1111 内線 2766

〒176 練馬区豊玉北6-12-1

2班に分かれて文化財を巡ります。

▽日 時 10月10日(土) 午前9時~12時
(雨天実施)

▽集合場所 北町おおば公園(北町2丁目41番、東武練馬駅より徒歩2分)

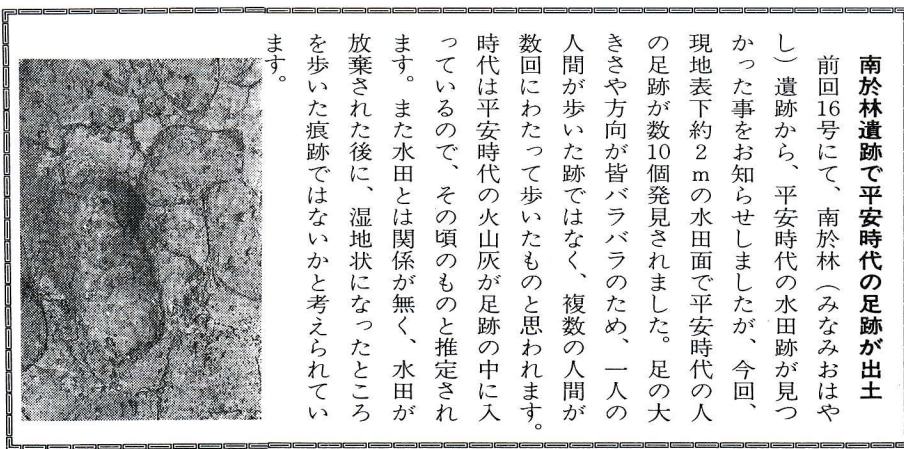
▽コース 下練馬宿に残る富士塚・道標、田柄川緑道沿いの庚申塔など各種史跡、文化財を巡り、氷川神社(氷川台4-47-3)で解散となります。約3.5km

▽参加方法 当日現地受付(午前8時45分~9時15分)

▽参加費用 1人50円(保険料)

▽講師 郷土史研究家 林 勇
郷土史研究家 亀井 邦彦

また、11月には「秋の文化財講座」を予定しています。詳しくは区報をご覧ください。



南於林遺跡で平安時代の足跡が出土

前回16号にて、南於林(みなみおはやし)遺跡から、平安時代の水田跡が見つかった事をお知らせしましたが、今回、現地表下約2mの水田面で平安時代の人の足跡が数10個発見されました。足の大きさや方向が皆バラバラのため、一人の人間が歩いた跡ではなく、複数の人間が数回にわたって歩いたものと思われ、時代は平安時代の火山灰が足跡の中に入っているため、その頃のものとして推定されます。また水田とは関係がなく、水田が放棄された後に、湿地状になったところを歩いた痕跡ではないかと考えられます。

9月17日、練馬区文化財保護審議会委員に新しく神奈川大学講師 浅井潤子氏(専門分野 歴史学)が就任されました。

